

第9回町章・町花等検討委員会協議状況報告

1. 関係者の出席について

花や魚などの自然に関する専門家として、宜野湾市のアクアコラル企画屋比久壮実さんの出席を了承

2. 町花・町木・町花木・町魚選定要項について

選定要項(案)について協議した結果、下記の箇所を修正することを確認した。

- (1) 第2条(選定の方法)の条文中 その結果を踏まえ を その結果を参考に へ修正
- (2) 第3条(アンケートの方法)の条文中 (1)の性別を削除 (3)を第3条1項及び2項とは別に、中学生を対象にアンケートを実施する に修正
- (3) 第4条(選考基準)の条文を下記のとおり修正した。

【町花・町木・町花木】

- (1) 八重瀬町のイメージにふさわしいもの。
- (2) 八重瀬町の歴史、文化、自然になじみ深いもの。
- (3) 町民に広く知られ、愛されて、親しみやすいもの。
- (4) 苗や種子が入手しやすく栽培が容易であるもの。

【町魚】

- (1) 八重瀬町のイメージにふさわしいもの。
- (2) 町民に広く知られ、愛されて、親しみやすいもの。
- (3) 八重瀬町の海域に生息していること。

3. 町花・町木・町花木・町魚選定に関するアンケートについて

アンケートについて協議した結果、下記の箇所を修正することを確認した。

- (1) アンケート依頼の文面を別紙のとおり修正した。
- (2) 選考基準を別紙のとおり修正した。
- (3) 町花の項目について協議した結果、9種類の花で設問すること確認し、マリーゴールド、テッポウユリ、ランタナ、ニチニチソウ、グラジオラス、ペゴニア、キク、ツワブキ、インパチェンスで設問することを確認した。なお、できれば写真を掲載できるようにとの意見があった。
- (4) 町木の項目について協議した結果、リュウキュウコクタン(クルチ)モモタマナ(クワディーサー)、フクギ、ガジュマル、ゲッキツ(ギキチャー)で設問することを確認した。なお、方言名も明記することも確認した。
- (5) 町花木の項目について協議した結果、サンダンカ、ブーゲンビレア、サクラ、サルスベリ、ユウナで設問することを確認した。
- (6) 町魚の項目について協議した結果、トビウオ、ミーバイ、アイゴ、ブダイ、ガーラで設問することを確認した。
- (7) 性別、年代、居住区の欄は、性別を削除し、70代を70歳以上に修正した。

八重瀬町「町花・町木・町花木・町魚」選定要項（案）

（趣旨）

第1条 八重瀬町を象徴する「町花・町木・町花木・町魚」を制定するため、選定要項を定める。

（選定の方法）

第2条 町花・町木・町花木・町魚の制定に関する町民アンケートを実施し、その結果を参考に、町章・町花等検討委員会で選定する。

（アンケートの方法）

第3条 次のとおりアンケートを実施する。

- （1）行政区ごとの人口割合、年齢層を考慮し、八重瀬町の住民基本台帳から、500人を無作為で抽出し、アンケートを実施する。
- （2）前項のアンケートの配布並びに回収は郵送により行う。
- （3）第3条1項及び2項とは別に、中学生を対象にアンケートを実施する。

（選考基準）

第4条 町花・町木・町花木・町魚の選考基準は次のとおりとする。

【町花・町木・町花木】

- （1）八重瀬町のイメージにふさわしいもの。
- （2）八重瀬町の歴史、文化、自然になじみ深いもの。
- （3）町民に広く知られ、愛されて、親しみやすいもの。
- （4）苗や種子が入手しやすく栽培が容易であるもの。

【町魚】

- （1）八重瀬町のイメージにふさわしいもの。
- （2）町民に広く知られ、愛されて、親しみやすいもの。
- （3）八重瀬町の海域に生息していること。

『お願い』



【町花・町木・町花木・町魚制定に関するアンケート】

八重瀬町では、町のシンボルとなる「花」「木」「花木」「魚」の制定に当たって、町章町花等検討委員会を設置しその作業を進めています。

委員会においては「町花・町木・町花木・町魚制定に関するアンケート」を実施し、その結果を参考に、選定することとなりました。

町民の皆様には、ご多忙のこととは存じますが、趣旨をご理解いただき、アンケートへご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、アンケート対象者の選出につきましては、八重瀬町住民基本台帳閲覧申出を行い、行政区別の人口割合、年齢等を考慮し、500人を抽出し、アンケート対象者として選出させていただきましたのでご理解をお願いします。



※八重瀬町「町花・町木・町花木・町魚」は次の(1)～(4)を基準に選考します。

【町花・町木・町花木】

- (1) 八重瀬町のイメージにふさわしいもの
- (2) 八重瀬町の歴史、文化、自然になじみ深いもの
- (3) 町民に広く知られ、愛されて、親しみやすいもの
- (4) 苗や種子が入手しやすく栽培が容易であるもの

【町魚】

- (1) 八重瀬町のイメージにふさわしいもの
- (2) 町民に広く知られ、愛されて、親しみやすいもの
- (3) 八重瀬町の海域に生息していること

※旧町村における「花」「木」「花木」「魚」の制定状況

○旧東風平町

町花	町木	町花木	町魚
マリーゴールド	リュウキュウコクタン	サンダンカ	制定なし

○旧具志頭村

町花	町木	町花木	町魚
テッポウユリ	リュウキュウコクタン	ブーゲンビレア	トビウオ

※回答は、直接この用紙に記入していただき、同封の返信用封筒に入れて平成19年7月13日(金)までに返信くださいますようお願いいたします。

※このアンケート調査についてのお問い合わせは、八重瀬町役場企画財政課企画調整係(土地)までお願いします。 TEL 098-998-2668

裏面につづきます。

(1) 「町花」にふさわしいと思うものを1つ選び、番号に○を記入してください。該当するものが無い場合は、ふさわしいと思う「花の名称」を、10. その他の欄に記入してください。

1. マリーゴールド	2. テッポウユリ	3. ランタナ	4. ニチニチソウ	5. ツワブキ
				
一般的に普及度が高く、誰でも手軽に育てられ、日当たりのよい場所なら土質を選ばず花期も非常に長い。最近では春から秋まで咲つづけるものに改良され花色も黄、だいだい、赤黄、赤褐色と多い。	南西諸島・九州南部琉球を原産地とするユリ科の球根植物で、八重瀬町の野山にも自生し、4月頃に開花する。清楚な姿は人々に清涼感を与え、沖縄の初夏のを彩る花である。	花の色は、黄、紫や黄から赤に変化するものなど多種ある。肥培管理の必要がほとんどなく、条件の悪い場所でも十分生育する増やしやすいい花である。	日当たりと水はけのよい場所を好み毎日、次々と花が長時間咲き続けるので、この名前がつけられた。白、ピンク、赤などの花色がある。	海岸近くから山手の路傍にかけてよく見られる多年草で、草丈は50cm程度で、葉につやがあり、黄色い花を咲かせる。日陰でもよく育ち、園芸植物として、石組みや木の根元などに好まれる。

6. ヒマワリ	7. カンナ	8. インパチェンス	9. グラジオラス	10. その他
				※花の名称を具体的に記入してください。
ヒマワリは、漢字で書くと「向日葵」つまり「日に向かう葵」。英語でも、サンフラワーと書き、太陽とは切っても切り離せない関係で、真夏をイメージさせる代表的な花である。	燃えるように咲く赤いカンナは南国の情熱をイメージさせる花である。赤い花色が一般的ではあるが、ピンク・黄色・赤などがあり、花壇だけでなく、鉢やプランターに植えても楽しめる。	日陰でも花を咲かせるほど生育はおう盛で、花色も数多く、単色だけでなく2色咲きや斑の入ったもの、また一重咲き八重咲きなどのバリエーションも豊富である。	グラジオラスは、八重瀬町の野山にも自生する花で、だんだん花の愛称で親しまれている。テッポウユリとともに沖縄の初夏を彩る花である。	

右面につづきます。

(2) 「町木」にふさわしいと思うものを1つ選び、番号に○を記入してください。該当するものが無い場合は、ふさわしいと思う「木の名称」を、6. その他の欄に記入してください。

1. リュウキュウコクタン (クルチ)	2. フクギ	3. モモタマナ (クワディーサー)	4. ガジュマル	5. ゲッキツ (ギキチャー)
				
常緑広葉樹の中高木で、潮風にも強く、庭園樹、公園樹、盆栽用としても最適で、種子も入手し易くその普及度も高い。三味線や装飾等の用材としても貴重な木である。	台風等の防風林として有名な常緑高木である。樹皮に黄色の色素を含み、染料として使われる。雌雄異株で、直径1.5センチほどの黄白色の花をつけ、果実は直径2.5~3.5センチの球形で黄色く熟する。	沖縄ではクワディーサーの名で親しまれている。大きく枝を広げ木陰をつくるため、学校や公園などの広場によく植えられている。秋から冬にかけて落葉し、春には新芽がでる。	亜熱帯から熱帯に自生する常緑高木で、気根を出すという特徴がある。5月頃に、直径1センチほどのイチジクのような形の花が付き、8月頃に帯黄色または淡紅色に熟する。	つややかなグリーンの照葉が美しく、花も楽しめる。樹高が1m以上になると白く香りのよい花を咲かせ、赤い実を結ぶ。生垣に利用され、ポピュラーな植物である。比較的、日陰にも強い植物である。
6. その他	※木の名称を具体的に記入してください。			

(3) 「町花木」にふさわしいと思うものを1つ選び、番号に○を記入してください。該当するものが無い場合は、ふさわしいと思う「花木の名称」を、6. その他の欄に記入してください。

1. サンダンカ	2. ブーゲンビレア	3. ヒカンサクラ	4. オオハマボウ (ユウナ)	5. サルスベリ
				
沖縄3大名花のひとつとして、古くから親しまれた花である。花は春から秋にかけて咲き色も白、赤、黄など多種あり、花期も長く、近年、庭園樹として広く利用されている。	常緑蔓性低木で、熱帯を象徴する代表的な花である。斑人葉、咲き分け八重咲きなど、花の色、大きさなどに多くの種類がある。日陰棚、門柱アーチなどに広く利用されている。	沖縄の冬場を飾るヒガンザクラ（彼岸桜）と混同しないためにカンヒザクラ（寒緋桜）とも呼ばれる。「八重瀬さくら祭り」が開催されるなど町民にも身近な花木である。	高さ約5~8mになる常緑の高木で公園や街路樹にも利用されている。方言ではユウナと呼ばれ親しまれており、夏場にレモン色の花を咲かせる。	高さ約3mになる中木で、真夏の草花の少ない時期にフリルのような花を咲かせる。花色には白色、淡紅色、紅色、紫色などがある。
6. その他	※花木の名称を具体的に記入してください。			

裏面に続きます。

(4) 「町魚」にふさわしいと思うものを1つ選び、番号に○を記入してください。該当するものが無い場合は、ふさわしいと思う「魚の名称」を、6. その他の欄に記入してください。

1. トビウオ (トゥブー)	2. ハタ (ミーバイ)	3. アイゴ (エーグァー)	4. ブダイ (イラブチャー)	5. カスマアジ (ガーラ)
				
方言ではトゥブーとして呼ばれている。熱帯から温帯海域に分布し、沖縄近海では約20種類が知られている。胸びれを翼のように使い表層を飛ぶことができる。滑空時の高さは3mで1回の飛距離は300mにも及ぶ。	沖縄ではミーバイの名で親しまれており、全長10cm程度の種頭から、全長2mを超える大型種まで様々である。高級食材として扱われ、釣りの対象魚としても人気が高い。	アイゴの稚魚はスクと呼ばれ、毎年決まった時期に沖合から押し寄せるスクの大群を独特の漁法で収穫する風景は沖縄の風物詩になっている。稚魚の塩漬(スクガラス)や成魚は塩煮などで食される。	大型の個体は頭部が張り出す。オウムのくちばしのような図をもっている。この歯でサンゴをかじり、エサとする。夜になると岩かげの中に入り、口から出した粘液の中で寝る。大きいものでは90cmにもなる。	沖縄ではガーラの名で親しまれており、銀鱗の輝きが美しく、動作も活発で、小魚を追って漁港の中まで入ってくることもある。身近な漁港で大物が釣れることもあり、釣りの対象魚としても人気が高い。
6. その他	※魚の名称を具体的に記入してください。			

(5) あたなご自身について、それぞれの項目ごとにあてはまる番号に○をつけてください。

	年 代				居住区域
1. 男	1. (10代)	2. (20代)	3. (30代)	4. (40代)	1. 旧東風平町区域 2. 旧具志頭村区域
2. 女	5. (50代)	6. (60代)	7. (70歳以上)		

※最後に「町花・町木・町花木・町魚」の制定に当たっての意見などがございましたらご自由に記入してください。

アンケートへのご協力誠にありがとうございました。

